

目次：

まえがき

本書を読み解く上でのキーワード

1. 室町期に於ける震災と地震観、対処の文化

はじめに

1－1：明応度（地震）に於ける被害発生とそれへの対処

1－2：「実隆公記」に見える地震への対応

おわりに

註

参考文献表

2. 慶長年間に於ける謎の災害

はじめに

2－1：地震が多発した慶長年間

2－2：建築に見る災害対処の手法

2－3：地震雷の間

2－4：綸旨、改元、未来予想図

おわりに

註

参考文献表

3. 要石（かなめいし）の震災文化論

～なぜ日本海沿岸地域には要石信仰が見られないのか～

はじめに

3－1：要石とは何か

3－2：地震と間災期、そして鯰絵

3－2－1：日本に於ける日本海側と太平洋側の「間災期」

3－2－2：日本に於ける対地震認識

3－2－3：地震と鯰

3－2－4：鯰と食文化、地名

3－2－5：黒田日出男氏の『龍の棲む日本』に見る龍体と鯰の検討

3－2－6：鯰絵コレクション

3－2－7：鯰絵の何故

3－3：蛙石（かわずいし）と地震予知

3－4：大村神社の要石

3－5：鹿島神宮の要石

3－5－1：平田篤胤に見る鬼と鹿島要石

3－6：香取神宮の要石

3－7：宮城県の鹿島神社の要石

3－8：琵琶湖に浮かぶ竹生島の要石

おわりに

註

参考文献表

あとがき

註

注記

初出一覧

著作者略歴

広告

奥付